

平成31年度（令和元年）自己評価書・学校関係評価書

真庭市立美川こども園

1. 美川こども園の教育保育目標

「豊かな人間性や生きる力の基礎を身につけた子どもを育成する」

- ・明るく元気な子ども
- ・みんなと仲良くする子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・根気よく頑張る子ども

2. 本年度の重点目標（課題）

意欲的に遊びや活動に取り組める子どもをめざして

～安心・安全・清潔・健康・運動から考える～

- ・視点の理解の仕方や重点の置き方等を職員間で話し合いながら保育を行い、子ども達が安心して生活したり意欲的に活動したりできるように環境を整えていく。
- ・普段の生活や活動の中で自然な異年齢児のかかわりがもてるように配慮していく。
- ・指先に力が入りにくい子が増えていると感じるため、指先を使う遊びや活動を意識的に取り入れていく。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価	評価委員評価 (学校評議員評価)
教育課程・指導計画	教育課程等を基に計画の立案・実践はできたが、保育にあたる時間が長く、記録や振り返りの時間がとりにくかった。	3	3
行事	保護者は回数・内容等に満足しているが、職員は多いと感じている者もいる。行事のねらいや保育との兼ね合いを考えたい。	3	4
組織・運営	職員間の意思疎通や周知がうまくいかなかった。報告・連絡・相談がしやすい環境作りを考えたい。	2	3
学級経営	園児の気持ちを受け入れたり、良さを認めたりできた。さらにより良い環境を整えていきたい。	3	4
特別支援教育	家庭や関係機関との連携をもち、計画作成や保育が行えた。今後も連携し、複数の目と手と心で支援していきたい。	3	4
安全管理・保健指導	室内外の安全点検や事故防止・危険発生時の配慮や指導を行った。さらに家庭への啓発を工夫していきたい。	4	4
研修（資質向上）	研修は保育の気づきや見直しの場となったが、園外研修への参加は成果を生かしきれなかった。時間的にも余裕がなかった。	2	3
情報提供・保護者・地域との連携	保護者・職員とも概ね連携が図れていると感じている。今後も信頼関係を大切にし、さらに連携を図りたい。	3	4
小学校との接続・連携	行事や参観日等で交流はできている。カリキュラムの理解ができていない部分があるので研修の機会をもちたい。	3	4
子育て支援	保護者や関係機関と連携を取りながら対応できた。さらに安心して相談できる関係を築いていきたい。	4	4
食育の推進（給食）	年齢に応じた食育に取り組んだり、アレルギー児に対応したりできた。引き続き、安全で楽しい給食を提供したい。	4	4
食事の提供（調理）	衛生管理の徹底やマニュアルに沿った適切な調理をし、園児の実態に応じて配慮している。今後も安心安全を徹底したい。	4	4

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価	評価委員評価 (学校評議員)
重点目標	課題解決に向けて職員間で共通認識をもち、環境を整えたり活動を取り入れたりした。異年齢児のかかわりも自然な形でできた。	3	4

5. 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

保護者アンケートではどの項目も「あてはまる」「ほぼあてはまる」が90%以上の概ね良い評価をいただき、温かいご意見が多かった。しかし、気付けていなかったことやいろいろな考えも教えていただき反省点も見つかった。職員間で具体的な改善策を話し合い、次年度につなげていきたい。保護者とは心配なことや困っていること等があれば気軽に声をかけてもらえるように、信頼関係をさらに築いていきたい。地域の方々や小学校等の力を今年度もお借りすることができ、大変ありがたく感じている。職員自己評価では、組織・運営面を中心に課題が多く見つかった。行事の持ち方や準備の段取り、役割分担、職員間の共通理解等、来年度に向けて改善方法を検討していきたい。重点目標は昨年度に引き続き、安心・安全・清潔・健康・遊びの視点から意欲的に遊びや活動に取り組める子どもの育成を目指して取り組んだ。保育者それぞれがもっている年齢に対する育ちのイメージを言葉にして伝え合うことで、自分の保育を振り返る目安としたり、具体的な援助の仕方を相談する等保育について話し合ったりすることができた。その中で各クラスの課題が改善に向かい、自分の思いを表現しながら、遊びや生活に積極的に取り組めるようになった。学校関係者評価委員の方からは、「小学校への接続を意識した教育をしている。」「クラスや個の実態を捉えて、それに応じた指導で充実した保育ができている」との評価をいただいた。この評価を励みに来年度も子ども達に向き合っていきたい。

6. 評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

保育については今後も安心安全に配慮しながら、一人一人の気持ちを受け入れ、個性や特性に合わせた丁寧な保育をしていきたい。そのためには職員間の連携や共通理解が必要である。職員会議や園内研修の持ち方、回数、段取りや周知について確認し、協力し合って保育が進められるようにしたい。また、保護者とより信頼関係を深め連携するために、園での生活や活動の様子、成長している姿等を送迎時や連絡ボード、HP、お便りなどで具体的に伝えたい。また、読んでもらいやすいようお便りの内容や書き方を工夫したり、落合地区の小中学校とともに取り組んでいるノーメディアの意義を伝えたりして定着できるようにしていきたい。

学校評議員・園評価基準

評 価	基 準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である